



東京医科歯科大学 がん患者さんとご家族のための おしゃべりサロン

サロン便り No. 47
(2016年 10月発行)



2016年9月28日に開催された第47回“おしゃべりサロン”の参加者は、体験者19名(男性5名、女性14名)、ご家族・友人3名(男性1名・女性2名)、相談支援センターから看護師1名、医学生2名の合計25名と沢山の方に参加していただきました。
今回も、治療や再発の不安、副作用に対する悩みなど、がんという病気を体験した者同士こそが共有できる心情を分かち合い、心の耳でお互いの話を傾聴しました。



サロンのお約束(①自分の事は自分の言葉で話す、②お話は評価することなく聴く、③ここでの話はここ限りに、)からスタート、自己紹介、ミニ体操、休憩を挟んだあと、4グループでテーマに沿って分かち合いをし、最後は初参加の方に感想を伺いました。



〇ずっと参加したいと思っていたが、タイミングが合い参加できてよかった。不安を抱えているのは自分だけではないとわかった。

〇再発して落ち込むこともあったが、サロンに来てがんという病気を抱えた仲間と話すことで元気をもらえた。

〇がんの種類が多く驚いた。自分自身のがん治療で手いっぱいだったが、みなさんも頑張っていて生きていくとわかり励まされた。

〇色々な人生があるのだなと感じました。心から、心の耳でお話を聞かせていただきました。

〇術後食事が思うように取れず、体力が中々もどらないのが悩み。こんなとき皆さんどのよう過ごしているのかお伺いしたい。

〇がんを告知されたときは、同居の家族の介護をしていた。どうしようと悩んだがなんとかクリアした。今は趣味を楽しむこともできるようになった。

〇がんの治療を終えて15年以上経つ。先日人間ドッグで肺に影が見つかり現在観察中。まだ結果は出ていないが、今回は落ち着いた気持ちでいる。

〇病気になって初めて自分の罹ったがんのことを知った。自分の病気を良く知り、理解した上で前向きに生きてゆきたいと思う。

〇転院の経験がある、病院が違うとこんなに治療内容やスタッフの対応がちがうのかと驚いた。患者自身も勉強する必要があると感じています。

〇勉強になりました。また参加します。



皆様も、仲間の話を聴いて、そして自分も話してみませんか。スタッフ一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後の日程

- 日時・場所
毎月第4水曜日 13:30 ~ 15:30
東京医科歯科大学 医学部附属病院
2016年 10月26日(水)
12月28日(水) B棟16階小会議室
11月は祝日でお休み
(詳細は当日、開催階のエレベータホールに掲示)
- 対象：主にがん患者さん・ご家族
どちらの医療機関に掛かっている方も参加出来ます(無料・予約不要)
- 問い合わせ：東京医科歯科大学医学部附属病院
がん相談支援センター (腫瘍センター内)
電話：03-5803-4008 (直通)

主催：特定非営利活動法人がん患者団体支援機構
〒154-0002 東京都世田谷区下馬5-28-7
E-mail: info@canps.jp
URL: http://www.canps.jp

& 東京医科歯科大学医学部附属病院 腫瘍センター



「のぞみ基金 がん患者団体支援助成金」事業